

平面図



バルコニーの入力方法を教えてください。



「外部」メニューの「バルコニー」または「部屋」を使って、バルコニーを入力します。



- 天井がなく外側に出ているバルコニーは「外部」メニューの「バルコニー」、インナーバルコニーや下階に部屋がある場合は「部屋」コマンドのバルコニーをお使いいただくと便利です。
- バルコニー領域を部屋面積として積算や壁量計算の荷重面積に加える場合は、「部屋」コマンドで入力します。



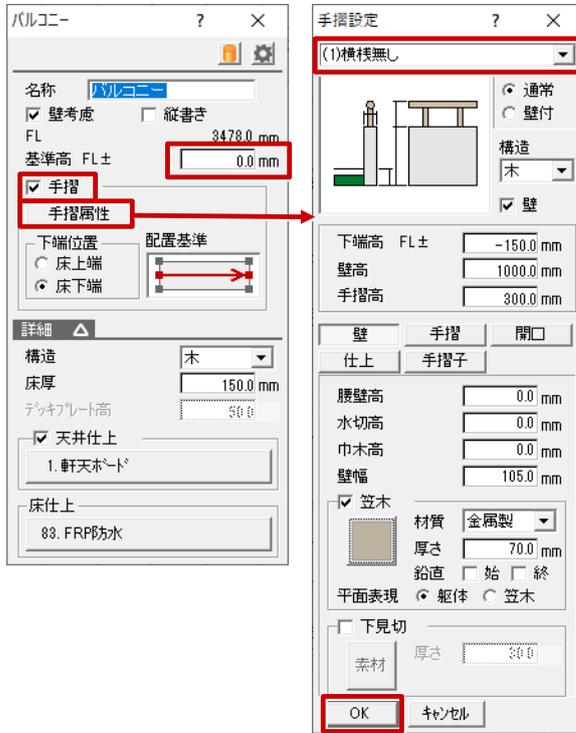
バルコニーをシンボルで入力する方法

- 2階平面図を開き、「外部」メニューから「バルコニー」を選びます。

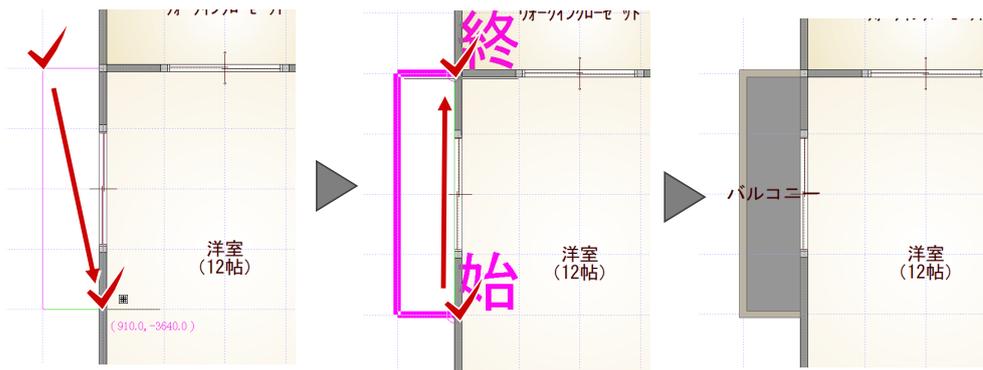


2 「バルコニー」ダイアログの「手摺」がONになっていることを確認します。
必要に応じて「基準高」を調整します。

3 「手摺属性」をクリックし、手摺のタイプを選んで「OK」をクリックします。



4 バルコニーの範囲を指定し、手摺の開始位置と終了位置をクリックします。

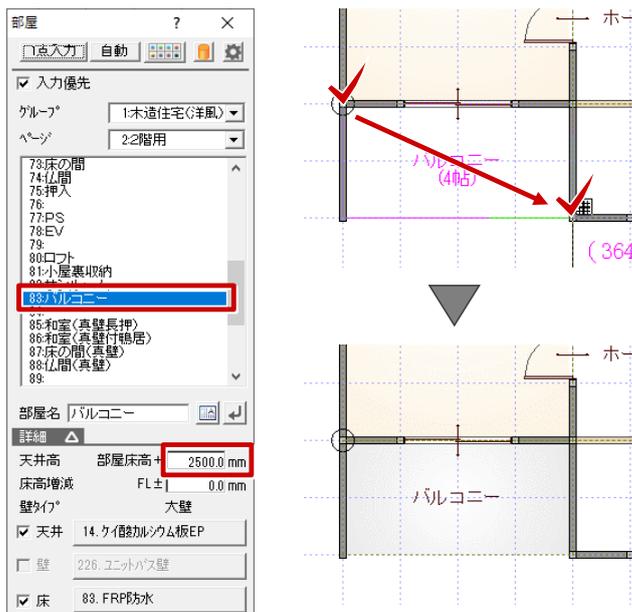


外部部屋でインナーバルコニーを入力する方法

- 1 2階平面図を開き、「部屋」をクリックします。



- 2 「バルコニー」を選び、部屋領域を指定します。
必要に応じて「天井高」を調整します。

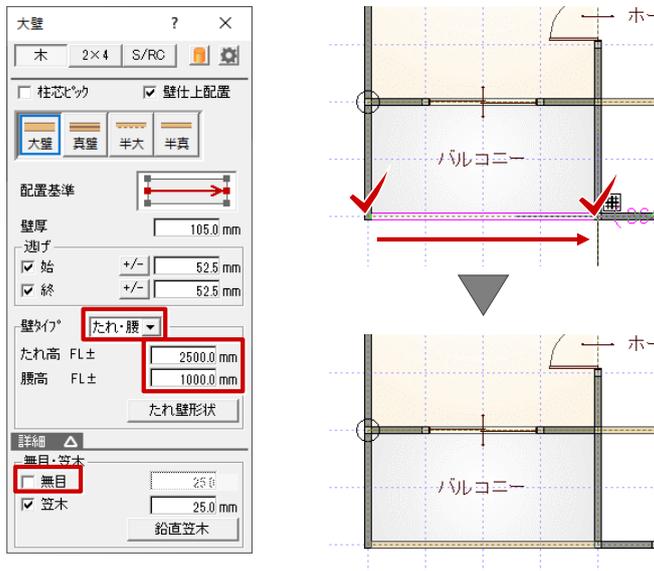


- 3 「柱壁」メニューから「壁」を選びます。



4 「大壁」ダイアログの「壁タイプ」を「たれ・腰」に変更します。
必要に応じて「たれ高」、「腰高」を調整し、「無目」をOFFにします。

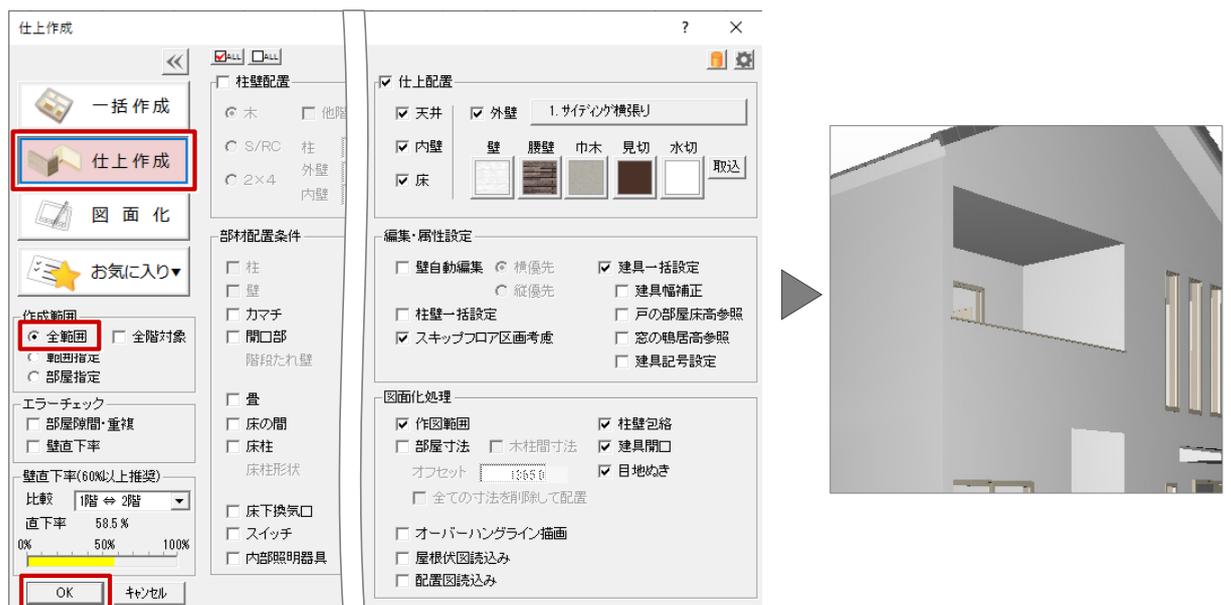
5 木壁の始点と終点をクリックします。



6 「一括作成」をクリックします。



7 「一括作成」ダイアログの「仕上作成」を選び、「作成範囲」の「全範囲」をONにして「OK」をクリックします。



- 8 1階平面図を開き、「柱壁」メニューの「たれ壁」で「壁仕上配置」をONにしてバルコニー手摺下にたれ壁を入力します。



- 9 1階天井伏図を開き、「自動立上」をクリックします。「自動立上」ダイアログで、「ポーチ天井仕上」のみONにして「はい」をクリックします。

